事　情　説　明　書（ 面会交流 ）

|  |
| --- |
| この書類は、調停を進める上で参考にさせていただくために記載していただくものです。該当する□にチェックをつけ(複数可)、空欄やかっこ内には具体的に記入して、提出してください。**なお、この書類は、家庭裁判所から相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。** |
|  |
| １ 今回の申立てのきっかけや理由、面会交流に対する考えを記入してください。 |  |
| ２ 調停で相手方と意見が対立する点は何だと思いますか。 | □ 面会交流を実施するかどうか□ 面会交流の回数・頻度□ 面会交流の内容（□受渡方法　□時間　□場所　□宿泊　□付添い）□ そのほか（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ３ 別居後の面会交流はどのようにされていますか。（頻度、過ごし方や、実施していない理由などについて記入してください。） | □ 実施している｡ □ 　年 　月まで実施していた｡ □ 実施していない｡　【具体的に書いてください。】 |
| ４　お子さんについて |
| ⑴ 現在のお子さんの状況について記入してください｡ | □ 安定している。□ 次のとおり心配な点がある。　□ 健康面　　　□　情緒面・精神面□ 生活面　　　□　そのほか□ 状況は分からない。 |
| ⑵ お子さんに心配な点がある場合はその内容を具体的に記入してください。 |  |
| ⑶ 児童相談所や病院への定期的な通所・通院等がある場合は、その理由や経過を記入してください。 | □ ない。　□ ある。　□　わからない。【理由・経過】　 |
| ⑷ あなたとお子さんとの関係を記入してください。 | □良好である。□別居前後で変化がある。□そのほか気になる点がある。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ⑸ 相手方とお子さんとの関係を記入してください。 | □良好である。□別居前後で変化がある。□そのほか気になる点がある。 |
| ⑹ お子さんは、日頃の言葉や態度からすると、父母間の対立についてどのように感じていると思いますか。(お子さんに直接聞く必要はありません。) | □ 次のとおりである。　□ わからない。 |
| ⑺ お子さんは、日頃の言葉や態度からすると、面会交流についてどのように考えていると思いますか。(お子さんに直接聞く必要はありません。) | □ 次のとおりである。　□ わからない。 |
| ５　あなたご自身について |
| ⑴ あなたの状況について記入してください。 | □ 安定している。□ 次の点について心配がある。□ 健康面　□ 情緒面　□ 生活面　□ その他【具体的に書いてください。】 |
| ⑵ 相手方との関係や連絡状況について記入してください | □ 会って話すことが可能な関係である。□ 電話やメールで連絡が取れる関係である。□ 次の理由により連絡を取っていない。　　【理由】 |
| ⑶ お子さんに対して相手方のことを話題にするときに気を付けていることはありますか。 | □ ある。　□ ない。　□ その他【具体的に書いてください。】 |
| ６ 同居家族について |
| 申　　立　　人  | 相　　手　　方 |
| 氏　名 | 年齢 | 続柄 | 職業・学籍 | 氏　名 | 年齢 | 続柄 | 職業・学籍 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

令和　　　年　　　月　　　日　　　　申立人　　　　　　　　　　　　　　　　　　　